

## ■ 目的

- 気候変動の影響は森林生態系、特に希少な樹種やその周辺の生態系で懸念されている。一方で竹林の拡大が、希少な生態系へ悪影響を与える可能性もあり、全国的な課題となっている。
- そこで、気候変動が森林生態系に及ぼす影響について、最新の影響評価モデルや気候シナリオを活用して予測する。



従来では見られなかった地域での松くい虫の被害

出典)農林水産省 H30年度気候変動適応計画(概要)

## ■ 事業計画

年度	主な調査項目
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動影響予測を行うための基礎データの収集整備</li> <li>アカガシ、シラビソ、ハイマツ、ブナの潜在生育域及び竹林の拡大について将来予測の実施、予測マップの作成</li> <li>生物の生育環境に関する影響予測について、影響予測の実施、予測マップを作成、実装のための検討を実施</li> <li>気候変動下の将来のマツ枯れ危険域について、全国レベルの予測マップの作成を試行</li> </ul>
R元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度成果(アカガシ等の潜在生育域や竹林の拡大への影響)の精度向上を検討し、必要に応じて更新。</li> <li>気候変動下の将来のマツ枯れ危険域について、予測マップ(全国)を作成する。</li> <li>生物の生育環境への影響予測マップ(全国)を作成し、実装のための検討を行う。</li> <li>作成した予測マップ等については、気候変動適応情報プラットフォームに掲載する。</li> <li>モデルとなる地域や生態系等を対象として、適応策を効果的・継続的に実施するため、定量的なモニタリングとモデリングを一体的に運用するための手法を検討し試行する。</li> </ul>

## ■ 実施体制

